

SANWA SUPPLY RFイオグランデ取扱説明書

MA-WIH2Kシリーズ



最初に
ご確認ください

セット内容

マウス本体 1台
コンパクト直付け
レシーバー 1台
単3乾電池(テスト用) 2本
取扱説明書 1部

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社Web(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

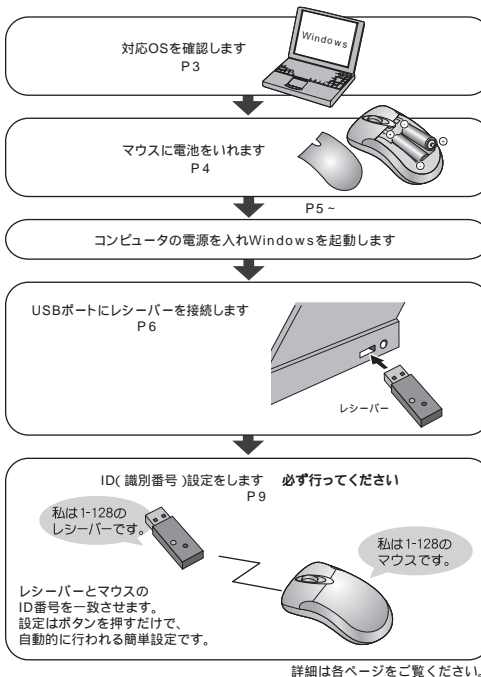
デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。 サンワサプライ株式会社

目次

1	ワイヤレスマウスの接続手順
2	特長 安全にご使用していただくために 警告
3	・テレビ/ラジオの受信障害について 注意 健康に関する注意 対応機種・対応OS
4	・対応機種 ・対応OS
5	マウスの準備(電池の入れ方)
6	マウスの接続 ・本製品をUSBポート接続する際の注意(Windowsの場合) マウスをパソコンに接続します
9	・レシーバーの接続 ID(チャンネル)の設定方法 必ず行ってください
10	本製品の使用方法 ・左ボタン・右ボタン ・ホイール(スクロール) ・ホイールボタン(スクロールボタン) ・ズーム
11	ご使用上の注意 ・Windows Meで本製品をお使いになられる場合 ・Windows Me/98SE/98でご利用の場合
12	「故障かな...と思ったら」
13	保証規定

ワイヤレスマウスの接続手順

マウスを接続するポートにより異なります



特長

この度は、RFイオグランデをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品はRF方式のワイヤレスマウスですので、入力操作の際ケーブルが邪魔になるといった煩わしさがなく、快適な環境でのコンピュータ操作が可能となります。本製品は、コンパクト直付けレシーバーなのでデスク周りもスッキリ。電池式小型タイプなので、携帯・モバイルにも便利です。ボールを使わないオプティカル方式(光学式)で、チリやホコリがたまってボールの動きがスムーズでないといったことがなく、クリーニングも不要です。本製品は、Windows標準ドライバで、スクロールやスクロールモードが使える簡単接続タイプのマウスです。

ご使用前にこのマニュアルをよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

警告

テレビ/ラジオの受信障害について

本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。

ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることで確認いただけます。電源を切ることで受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因と考えられます。ご使用のコンピュータシステムがテレビ/ラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせてお試してください。

テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。状況に応じ、テレビ/ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

注意

本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

健康に関する注意

マウスやトラックボール、キーボードを長時間操作すると、手や腕や首、肩などに負担が掛かり痛みや痺れを感じることがあります。そのまま操作を繰り返していると、場合によっては深刻な障害を引き起こす恐れがあります。マウスやキーボードを操作中に身体に痛みや痺れを感じたら、直ちに操作を中止し、場合によっては医師に相談してください。また日常のコンピュータ操作では定期的に休憩を取り、手や腕や首、肩など身体に負担が掛からないように心がけてください。

対応機種・対応OS

対応機種

Windows搭載パソコン
各社DOS/Vパソコン、NEC PC98-NXシリーズ
Apple iMac、iBook、Power Mac G5/G4/G3シリーズ
USBポート(Aタイプコネクタ)を持つ機種。

対応OS

USB接続:Windows Vista・XP・2000・Me・98SE・98及びMac OS X (10.2以降)

Mac OS X(10.3以降)は、標準インストールされているSafari、Mail、テキストエディット及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションでのみスクロール可能です。またホイールボタン押下げによる動作はサポートしません。

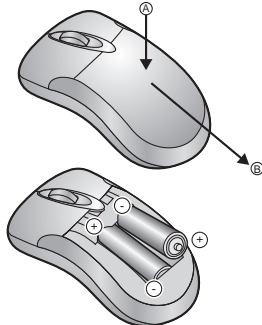
機種により対応できないものもあります。

この文章中に表記されるその他すべての製品名などは、それぞれのメーカーの登録商標、商標です。

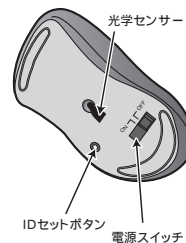
マウスの準備(電池の入れ方)

1. マウス上面の電池カバーを押さえながら(④)、手前にスライドし(⑤)、取り外してください。マウスに付属の単3電池を2本入れ、電池カバーを取り外したのとは逆の方向にスライドさせ、取り付けてください。
電池を入れる際、電池の方向には注意してください。(下図参照)
電池カバーを開ける際、硬い場合がありますので、その際は(④)を強めに押しながらカバーを開けてください。
2. マウス裏面の電池をONにします。
長時間マウスを使用しない場合やマウスを持ち歩く際に光学式センサーが点灯していると、電池が消耗しますので、電源をOFFにすることをお薦めします。
マウスの電池は、通常の使い方において約2ヶ月が目安になっています。(付属の電池は、テスト用ですので、電池寿命は短くなります。)電池交換の際は、単3アルカリ乾電池をご使用ください。
空になった電池をマウス本体内にそのまま置いておくと液漏れの原因になりますので、取り出しておいてください。

マウス上面



マウス裏面



マウスの接続

本製品をUSBポート接続する際の注意(Windowsの場合)

本製品はWindowsにおいて自動認識され、使用可能となります。まず最初にUSBインターフェイスが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。

「スタート」→「設定(S)」→「コントロールパネル(C)」→「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をチェックしてください。下の画面が表示されます。



これはUSBインターフェイスの正常な動作状況です。USBデバイスアイコンに「！」マークが表示されていたり、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つからない場合、マザーボードのBIOSをアップグレードしたり、BIOS設定を確認してください。一部の機種ではデフォルトの状態ではUSBポートの使用が不可に設定されています。また「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なる場合があります。インテル社以外の記述の際もありませんので、本体(マザーボード)メーカーにサポートしてもらってください。

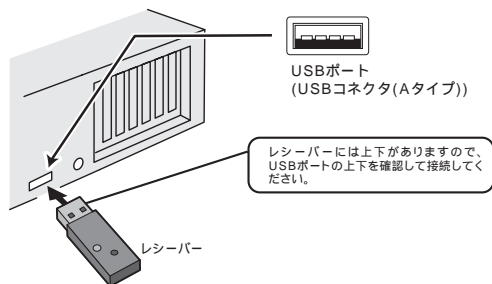
BIOS上でUSBがdisable(無効)になっている場合(Windowsの場合)

BIOS上のUSBをenable(有効)にしてください。通常BIOSの設定はコンピュータ起動時にF1かF2を押すものが多いですが詳細な設定については、コンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。

マウスをパソコンに接続します

レシーバーの接続

注意:マウス用レシーバーを接続する前に他のアプリケーション(ウイルス検索ソフトなどの常駐ファイル)を終了させておくことをお勧めします。コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動します。レシーバーをコンピュータのUSBポートに接続します。



自動的にハードウェアの検知が始まり、デスクドライバを更新するためのウィザードが起動します。

Windows Vistaの場合

タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」「USBヒューマンインターフェイスデバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

Windows XP・2000・Meの場合

タスクバーに「新しいハードウェアが見つかりました。」「使用できる準備ができました。」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

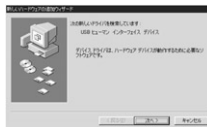


6

マウスをパソコンに接続します (続き)

Windows 98・98SEの場合

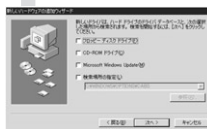
新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されます。Windows 98SE・98では、下記の作業が発生しますので、デスクトップパソコンの方はキーボード(もしくは他のマウス)が接続されている状態で行ってください。



新しいドライバを検索しています。
USBヒューマンインターフェイスデバイス
----- 次へ



検索方法を選択してください。
• 使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨) ----- 次へ



新しいドライバはハードドライブのデータベースと、次の選択した場所から検索されます。チェックボックスにチェックマーク(✓)を入れない。----- 次へ
✓ 検索場所の設定(L)

C:\WINDOWS\INF

もしくは、
C:\WINDOWS\OPTIONS\CABS

もし、上記の検索場所でドライバが見つからない場合は、CD-ROMドライブにWindows Me等のCD-ROMを挿入し、✓ CD-ROMドライブ(C)にチェックを付けてください。

7

マウスをパソコンに接続します (続き)



次のデバイス用のドライバファイルを検索します。
USBヒューマンインターフェイスデバイス
----- 次へ



USBヒューマンインターフェイスデバイス
----- 完了

接続が完了したら、ID設定方法(9ページ)へ。

USBポートによる接続 (Mac OS Xの場合)

コンピュータの電源を入れ、Mac OSを完全に起動します。レシーバーをコンピュータのUSBポートに接続するだけで接続を完了します。接続が完了したら、ID設定を行います。(9ページへ)

Mac OS X(10.3以降)は、標準インストールされているSafari、Mail、テキストエディット及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションでのみスクロール可能です。またホイールボタン押下げによる動作はサポートしません。

Mac OS 8.6 - 9.2.2でご使用の際は、当社ホームページ <http://www.sanwa.co.jp/>よりドライバをダウンロードしてください。

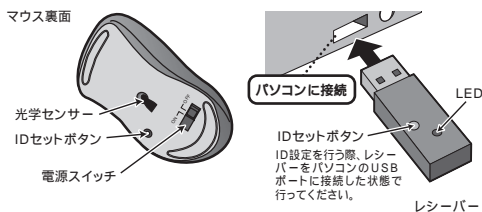
8

IDの設定方法 必ず行ってください。

重要(必ずお読みください)

レーザーの接続が完了したら、マウスを動かしてみてください。これでマウスが使える場合は、ID設定を行う必要はありませんが、マウスが使えない場合は下記の手順でID設定を行ってください。もし、動作がスムーズでなかったり、また近い環境で本製品を2台以上お使いの場合は、下記の手順に従ってID設定を行ってください。また、付属の電池はテスト用ですので電池寿命が短くなっています。ご購入後まもなくマウスが動作しなくなった場合は、IDの再設定とともに、電池交換もご確認ください。

マウス裏面



ID番号を設定する前に、(マウス裏面の光学センサー)が点灯していることを確認します。もし、点灯していない場合は、(電源スイッチ)がONになっているか確認します。それでも点灯しない場合は、電池が正しく入っているかを確認してください。

1. ペン先等を使って (レーザーのIDセットボタン)を押します。
2. (レーザーのLED)がグリーンもしくはオレンジに点滅します。
3. (レーザーのLED)が点滅している間に、(マウス裏面のIDセットボタン)を押します。
4. (レーザーのLED)がグリーンからオレンジ、もしくはオレンジからグリーンに変わって、3~4秒間早く点滅します。
5. マウスが認識されたら、(レーザーのLED)が消灯します。
6. これで設定は終了です。マウスを動かしても、マウスポインタが動かない場合は、再度上記の設定を行ってください。
7. これでマウスは使えるようになりました。Windowsが標準で持っているマウスドライバで、スクロールモードもご使用になれます。

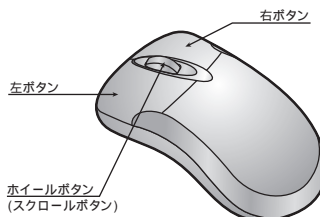
マウスを動かした際、レーザーのLEDがグリーンに点灯する場合はチャンネル1、オレンジに点灯する場合はチャンネル2に設定されています。またレッドに点灯する場合は電池が少なくなっています。

ID番号は256通りあり自動的に設定されます。2台以上のマウスを有効使用範囲内でご使用の際、マウスの動きがスムーズでないといった場合には、このID設定を再度行ってください。

パソコンの電源を立ち上げ直した場合、もしくはマウスの電源スイッチをON/OFFした場合でも、この設定を再度行う必要はありません。

本製品の使用方法

本製品にはホイールコントロール(ホイールそのものが回転し、スクロールなどの操作が行えます。)機能が付いており、マウスから直接スクロールすることができますので、Windows上でよりマウス操作が楽に行えるようになります。本製品は、Microsoft IntelliMouse 互換機能も持っていますので、MS-OFFICE 97のようにIntelliMouse機能を持っている場合であれば、幅広いナビゲーション(スクロール、オートスクロール、ズームなど)が行えます。



注意

本製品は、電池の消耗を押しさえるため、しばらくマウス操作を行わないとスリープモードに入ります。マウスを動かすと復帰しますが、ほんの少し時間がかかります。すぐに復帰させたい場合は、右ボタンなどをクリックしてください。

左ボタン・右ボタン

左ボタンには通常クリック、ダブルクリックに使われます。また右ボタンはWindowsでのアプリケーションごとに設定されているマウスの動きも行います。またポップアップメニューの表示もすることができます。左利きの方などは「マウスのプロパティ」の中「ボタンの選択(B)」で、お好みに合わせて変更可能です。

ホイール(スクロール)

インターネットやWindows上のドキュメント画面をスクロールさせる際、このホイールを前後に回転させて使います。

ホイールボタン(スクロールボタン)

インターネットやWindows上のドキュメント画面でスクロールモードを使用する際、このボタンをクリックしマウスを前後左右に少し動かすと自動的に画面がスクロールします。

このスクロールを止めるには、ホイールボタンをもう一度押してください。

ズーム

ズームはMicrosoft IntelliMouse の通常機能ですので、MS-OFFICE 97用のアプリケーションに対応しています。「ズーム」とはウィンドウ内の倍率を変えることです。「Ctrl」キーを押しながらホイールを回転させると、ズームが簡単に行えます。

「Ctrl」キーを押しながらホイールをモニター方向に回転させると、倍率が上がります。

「Ctrl」キーを押しながらホイールをデスク方向に回転させると、倍率が下がります。

ご使用上の注意

本製品は内部に光学式センサーを使用しているため、マウスを急に動かした場合には追従速度が低下し、マウスカーソルがスキップバックするといった現象が発生する場合があります。その際は、以下の設定を行ってください。

Windows Meで本製品をお使いになれる場合

「コントロールパネル」 「マウスのプロパティ」 「ポインタオプション」 「詳細設定」の ポインタの加速度(A)のチェックマーク(✓)を外してください。(Windows 2000の場合は「マウスのプロパティ」の「動作」の中にあります。)

Windows Me/98SE/98でご使用の場合

ポインタの速度(S)を中間より遅い速度の設定にして使用ください。



「故障かな...と思ったら」

Q. マウス(マウスカーソル)が動かない。

- A.
1. マウス裏面の光学センサーが光ってない場合、電池が正しく挿入されているか確認してください。マウスの電源がOFFになっていないか確認してください。(4ページ参照)
 2. レシーバー及びマウスのIDが正しく設定されているかどうか確認してください。(設定方法は9ページ参照)
 3. 光学センサーが光らない場合、電池寿命がもれませんので、電池を交換してみてください。付属の電池(アルカリ単3電池×2本)はテスト用です。(4ページ参照)
 4. レシーバーをパソコン背面に直付けしている場合、別売りの延長ケーブル(KU-ENI等)を使って、レシーバーを見える位置へ出してください。

Q. マウスをしばらく操作しないと、動かし始めた際に少し時間がかかる。

- A.
- 本製品は、電池の消耗を押さえるため、しばらくマウス操作を行わないとスリープモードに入ります。マウスを動かすと復帰しますが、ほんの少し時間がかかります。すぐに復帰させたい場合は、右ボタンなどをクリックしてください。

Q. マウスカーソルの動きがスムーズでない。

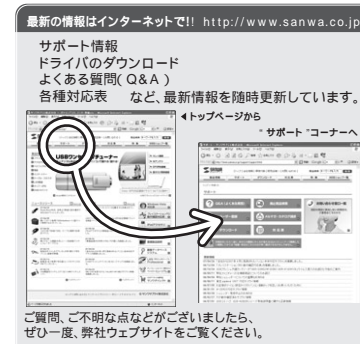
- A.
1. 光を反射する素材、ガラスなどの透明な素材の上や、規則正しいパターンの上で使用する際は、トラッキング性能が低下しますので、避けてください。
 2. 他のワイヤレスマウスと混信している場合がありますので、ID番号の設定をやり直してみてください。
 3. レシーバーとマウスの距離を調整してみてください。レシーバーとマウスの距離は、0.2m - 1mの間でご使用ください。
 4. 金属面の上では、ワイヤレス信号が乱反射し、スムーズに動かない場合がありますので、新聞やマウスパッド等の上でご使用になってみてください。
 5. ノートパソコンでご使用の際、片手をノートパソコンの上に置いてマウスを操作すると、このような現象が現れる場合がありますので、その手をノートパソコンの上から取り除いてみてください。
 6. マウスを動かした際、レシーバーのLEDがレッドに点灯する場合は、電池を交換してください。
 7. レシーバーをパソコン背面に直付けしている場合、別売りの延長ケーブル(KU-ENI等)を使って、レシーバーを見える位置へ出してください。

Q. Windowsのディスプレイモードに出ているトータルカラーを選択するとスクロールの動きがおかしくなった。

- A.
1. ハイカラーモードを選択してください。
 2. トータルハイカラーでは、CPUからデータを伝えるのに時間がかかります。このため、スピードコントロールの動きが遅くなるのです。

保証規定

- 1) 保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、当社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を商品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 2) 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
保証書をご提示いただけない場合。
所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
故障の原因が取り扱い上の不注意による場合。
お客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
- 3) お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 4) 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については当社はその責を負わないものとします。
- 5) 修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 6) 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 7) 保証書は日本国内においてのみ有効です。



本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。最新の情報は、当社Web(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

サンワサプライ株式会社

2008.05

岡山サブライセンター / 〒700-0825 岡山市田町1-10-1 ☎086-223-3311 FAX.086-223-5123
東京サブライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 ☎03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
札幌営業所 / 〒060-0807 札幌市北区北7条5丁目5-10 サンワビル ☎011-511-3450 FAX.011-718-8990
仙台営業所 / 〒983-0851 仙台市青葉区榴岡1-6-37 聖栄ビル ☎022-257-4638 FAX.022-257-4633
名古屋営業所 / 〒453-0015 名古屋市中央区権町16-7 カジヤマビル ☎052-453-2031 FAX.052-453-2033
大阪営業所 / 〒532-0003 大阪市淀川区豊原4-1-4 5新大阪ビル ☎06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
福岡営業所 / 〒812-0012 福岡市博多区博多駅前8-2-2 博多相互ビル ☎092-471-6721 FAX.092-471-6078
金沢 ☎076-222-8384